

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 沖縄の心を国にぶつけられるのは伊波氏だけ



伊波洋一参院議員（予定候補）の事務所開きで頑張ろう三唱で氣勢を上げる参加者と決意を表明する伊波氏（下）

参院選（6月22日公示、7月10日投票）で再選をめざす「オール沖縄」の伊波洋一氏（70）の事務所開きが21日、那覇市銘苅で行われました。

**辺野古を止め、デニー知事を支える**

伊波氏は「国政に直接、沖縄の声を伝えることが大切。辺野古新基地を止め、玉城デニー知事を支える」とあいさつ。赤嶺政賢衆院議員は「沖縄の心を岸田政権に正面からぶつけられるのは伊波氏だけだ。何としても勝利させよう」と訴えました。

支持母体は「参院選ひやみかち・うまんちゅの会」で、共同代表には県選出の野党国会議員ら5氏が就きました。顧問の玉城デニー知事や城間幹子那覇市長もオンラインでメッセージを寄せました。

参院選必勝を！伊波氏が事務所開き

## 本土復帰50年。沖縄の基地負担は「ますますひどい」 塩川・安和港では県民がやむなく長時間の牛歩

5月19日は梅雨の晴れ間で好天。名護湾に面する塩川港と安和港ではフル回転で土砂の海上輸送が行われました。塩川港では島ぐるみの人々数人が「少しでも搬出量を減らしたい」と、トラックの前をのぼりやパネルを掲げて長時間、牛歩戦術を続けることを余儀なくされています。

翌20日は梅雨に戻って海が荒れ、塩川港と安和港からの赤土の海上輸送はありませんでした。しかし、安和棧橋の構内にはダンプカーが雨に濡れて粘土状の赤土を運び込んでいます。県民と支援者20人ほどが棧橋の出入り口で黙々と牛歩戦術を展開しています。これが沖縄の本土復帰50年が経過した沖縄の基地負担の現状です。東京から支援に来た内田雅敏弁護士（戦争をさせない1000人委員会事務局長）は「ますます政府のやり方がひどくなっていますね。また7月に来ます」と語っていました。



写真上は安和棧橋の入り口で（20日）、写真下右は、安和棧橋出口で（19日）、写真下左は、塩川港で（19日）



## 「違法工事は直ちに中止を！」ゲート前の抗議続く

### わが青春つきるとも

—伊藤千代子の生涯—

権力に抗して声をあげた乙女がいた  
感動作をいよいよ名護市で上映

時 5月28日（土）

第1回 13:30 受付 14:00～16:10

第2回 17:00 受付 17:30～19:40

会場 名桜大学多目的ホール

料金 前売券 1000円（当日 1500円）

主催 上映実行委員会

連絡先 宮里 090-3795-1530

後援 名護市・名護市教育委員会



### 吉井名護市議が議会報告会

吉井俊平名護市議（共産）は22日、名護市内で市議会・国政報告会を行い市民約30人が参加しました（写真）。島袋恵祐県議があいさつし、赤嶺政賢衆院議員が国会報告しました。

キャンプ・シュワブゲート前には、各地の島ぐるみ会議から県民が連日座り込み、「違法工事は中止せよ」、「ジュゴンやサンゴを殺すな！」、「機動隊は本来の仕事に戻れ！」と抗議声を上げています。



写真は19日のゲート前の様子